

徳島県立城東高等学校 令和6年度 キャリア教育全体計画

①必須の要件として詳細に記すもの

各学校が定める目標
自らの人間力を鍛え、将来はグローバルリーダーとして社会に貢献しようとする意欲にあふれた生徒の育成

基礎的・汎用的能力	育成すべき資質・能力	教育内容・方法
【かかわる力】 人間関係形成 ・社会形成能力	○多様な他者の考えや立場を理解することができる ○相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる ○自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たすことができる ○他者と協力・協働して社会に参画することができる	授業やクエスト、部活動、各種行事等での多様な学びのなかで、自らの考えをわかりやすく伝え、意見の異なる他者との合意形成を図ることができるコミュニケーション能力の育成と、集団の中のチームワークやリーダーシップ等の育成を図る。
【みつめる力】 自己理解・ 自己管理能力	○自分が「できること・意義を感じること・したいこと」について、 ・今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解をすることができる ・社会と相互関係を保ちつつ、主体的に行動することができる ○自らの感情を律することができる ○自らの今後の成長のために進んで学ぼうとすることができる	各教科・各科目等の知識・技能を基に、様々な活動で幅広い教養や豊かな知見を身に付け、持続可能な社会の形成のため、自分が「できること」「したいこと」等について考え、主体的に取り組む能力の育成を図る。
【すすむ力】 課題対応能力	○仕事をする上での様々な問題について ・発見・分析することができる ・問題解決のための適切な計画を立てることができる ・設定した計画を処理し、解決することができる	主体的に目的や課題を発見し、情報収集や分析を行うとともに、様々な学習活動を通じて困難や失敗にもへこたれないレジリエンス力を鍛え、その過程において論理的思考力や批判的思考力の育成を図る。
【えがく力】 キャリア プランニング能力	○「働くこと」を担う意義を理解することができる ○自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけることができる ○多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨・選択し、自ら主体的に判断してキャリアを形成していくことができる	授業やクエスト、部活動、各種行事等を通じて学ぶことや働くことの意義を意識させ、卒業後の進路選択につなげることができるよう、幅広い視野と自らの軸を持ち、グローバルリーダーとして活躍できる能力の育成を図る。

各教科・科目との関連	
国語・地歴・公民・数学 理科・英語・情報	○「高等学校学習指導要領（平成30年告示）」に基づき、上記で示す基礎的・汎用的能力の育成をはかるための取組を行う
総合的な探究の時間	○【各学校で定める目標】に基づき、上記で示す基礎的・汎用的能力の育成をはかるための取組を行う
特別活動	○「高等学校学習指導要領（平成30年告示）」に基づき、上記で示す基礎的・汎用的能力の育成をはかるための取組を行う

②基本的な内容や方法を概括的に示すもの

学習活動	指導体制	学習の評価
○各教科・科目の目標を実現するための学習活動 ○生徒の活動を記録し蓄積する教材等「キャリア・パスポート」について、特別活動の時間を中心に、生徒の振り返りや教職員によるキャリアカウンセリングを実施する。	○キャリア探究課担当教頭・キャリア探究課長・学年主任・各学年キャリア教育担当者から構成される「キャリア探究運営協議会」を中心に、全体計画・指導計画・研修計画の立案や運営を行う。	○各教科・科目の評価計画に応じた学習評価の実施 ○キャリア・パスポートを活用した以下の評価の実施 ・生徒による自己評価または相互評価 ・キャリアカウンセリングによる他者評価 ○「学びミライPASS」による外部評価の実施 ○学校評価アンケートや学校運営協議会を活用した学校関係者全体による評価の実施